

「漁師うまいもんみなと博ランカイ」が

開催されました！

平成24年8月4日(土)・5日(日)にかけて、八戸市の館鼻岸壁を会場として“東日本大震災の復興応援イベント”「漁師うまいもんみなと博ランカイ」が開催されました。

八戸市を含む岩手・宮城・福島の被災地から各種団体が参加し、自慢の浜料理などが販売され、また会場では昔懐かしい港町の風景が再現され、大勢の家族連れらで賑わいました。

当事務所では、会場のブース内にて『みなとの博物館』なるコーナーを設け、先般の東日本大震災により発生した津波による八戸港の被害「写真展」や震災以降の「テレビ放映」を行い、「みなと」の復興に関しての理解を深めて頂きました。

→『みなとの博物館』コーナーに寄せられたコメントを一部掲載します！

Q. 「みなと」の役割について、あなたが知っていること

- ・八戸の一番魅力的な場所

Q. 「港の博物館」に関するご意見・ご感想・ご要望など

- ・高台にいて実際に見るのも恐ろしかったが写真で実感させられ、それにもかかわらず、強い前進しているのを知り感謝です。
- ・八戸は港から開かれたところ、よってこのようなイベントに努力している方々に感謝。
- ・津波の写真で3.11を風化させないで続けてほしい。
- ・はじめてみた。すごいですね。
- ・見てわかるような展示はいいと思います。
- ・津波の恐ろしさを改めて感じました。時々企画していったらいいと思う（津波について）
- ・復興後の写真も一緒に展示すればなお良いと思います。

▼八太郎北防波堤の復旧状況を聞く子供たち



▼震災以降の「テレビ放映」



▼大勢の家族連れらで賑わいをみせる会場の模様



▼パネル展示(震災後の八戸港や防波堤・岸壁のつくり方等)の模様



▼被災地(岩手・宮城・福島)から各種団体が参加



▼加藤登紀子さんから頂いたメッセージ

